

9月1日は
防災の日

その時、 あなたは何をしますか。

防災の日とは

防災の日は、大正12年9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れず、防災への意識を高めるために制定されました。

本町では、平成5年以降、釧路沖地震や北海道東方沖地震、十勝沖地震など震度5以上の大きな地震が発生しています。また、大雨による洪水などの水害も多く発生しています。

本町では防災の日に合わせて防災対策の一環として総合防災訓練を行っています。

防災の日に、万が一に備えて家族皆さんで話し合いましょう。

備えが大切です

災害が発生した場合、被害を最小限に抑えるためには、事前に対策を行うことが大切です。いざという時に慌てないように、日頃から防災の意識を高めましょう。

■持ち出し品の準備を

- 災害に備えて非常時の持ち出し品をまとめましょう。また、災害別(地震・大雨・大雪)にまとめましょう。
- 非常食の賞味期限を定期的に点検し、古い物は新しい物に交換しましょう。
- 乾電池にも使用期限があります。期限をしっかり確認し、定期的に新しい物に交換しましょう。
- 非常時の持ち出し品は、家族全員が分かる場所に設置し、むやみに変更しないようにしましょう。

■事前に話し合いを

- 災害時の家族の集会所や連絡方法を話し合しましょう。
- 災害用伝言ダイヤルの番号(☎177)や災害用伝言板の使用方法を覚えておき

ましょう。

■家の安全確保

- 家具の転倒防止器具は確実に装着しないと効果がありません。取扱説明書をしっかり確認し、取り付けてください。

災害が起きたら

地震はいつ起きるか予想できません。地震が起きた時に慌てず、適切な行動ができるように心掛けましょう。また、大雨や大雪は事前にニュースや天気予報を確認し、被害が発生する可能性がある場合は事前にと対策を行いましょう。

■地震が起きた場合

- ① **まずは自分の安全確保を**
頭部を保護し、丈夫な物の下で揺れが収まるのを待ちましょう。
- ② **火の始末を確認**
使用中の調理器具や暖房器具などの火を消しましょう。もし、火災が発生しても慌てずに消火器やバケツなどを使い速やかに消火しましょう。
- ③ **戸を開け、脱出口を確保**
地震の影響で扉や窓が開かなくなる場合があります。玄関や居間などの戸や窓を開け

非常時持ち出し品を確かめましょう

 懐中電灯	 携帯ラジオ・予備乾電池	 救急セット
 飲料水	 非常食	 衣類・下着類
 タオル	 貴重品	 ロープ

● 避難する時は、両手が自由に使えるようにカッパを着ましょう。もし、カッパがない場合はビニール袋に穴

● **大雨が降った場合**

● 就寝時には、枕元に靴や懐中電灯を置いて就寝しましょう。家から脱出する時に割れたガラスや食器から足を守り、暗闇の中を素早く脱出できます。

● 移動中に車が動かなくなってしまう危険があるので、除雪用品を持って避難しましょう。

● **大雪が降った場合**

● 車を使って避難するときは、防寒用具を用意しましょう。

● 停電に備えて懐中電灯、ライター・マッチ、ろうそくなどを準備しましょう。

● 着替えは、1回分ずつビニール袋に入れて準備しましょう。

● 逃げる時は、慌てずにガスの元栓を閉め、ブレーカーを切ってから脱出し、落下物に注意して、軒下などを避けて行動しましょう。

● 車を使って避難するとき

● 移動中に車が動かなくな

● 除雪用品を持って避難しま



防災クイズ 9月1日に家族で考えてみましょう。

問題：①～⑥の文章に該当するイラストをA～Fの中から選んでください。

- ①事前に避難所までの安全な避難ルートを確認しておきましょう
- ②非常時に持ち出す荷物は必要最低限にしましょう
- ③気象情報に注意し、危険を感じたら避難しましょう
- ④避難する前に電気・ガスなどの火元を消しましょう
- ⑤お年寄りや子どもケガ人の避難に協力しましょう
- ⑥避難する時は動きやすい服装で2人以上で行動しましょう

解答欄

① _____ ② _____ ③ _____

④ _____ ⑤ _____ ⑥ _____



答え：①D、②A、③E、④B、⑤A、⑥C